

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

正答

1

(1)

1

ウ

3まいのかがみの光が重なっていると  
ところがいちばん明るく、あ  
たたかくなります。



(2)

2

イ

明るい部分が小さくなればなるほど、あ  
たたかく(あつく)なります。



(3)

3

ア

2

(1)

4

エ

ワラジムシとクモは、あ  
しの数が6本より多いので、  
こん虫ではありません。



(2)

5

ウ

(3)

6

ウ、エ

トンボやバッタは、よう虫  
からさなぎにならないでせい  
虫になります。



★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

正答

1 (1) 1

(2) 2

(3) 3

時間がたつと月はどのように動くのが調べるためには、時<sup>きろく</sup>を記録する<sup>ひつよう</sup>必要があります。また、どのように動いたのか調べるためには、時間<sup>めじろし</sup>がたつても動かない<sup>きろく</sup>目印<sup>ひつよう</sup>を記録する<sup>ひつよう</sup>必要があります。



月は、太陽のように東から南<sup>め</sup>を通って西に、たえず動いています。



2 (1) 4

(2) 5

(3) 6

とじこめた<sup>たいせき</sup>空気をおすと体積が小さくなり、おすのを止めると体積はもとにもどります。水はおしちぢめることができません。



空気と水のせいしつ<sup>り</sup>を利用したのものには、きりふきのほかに、シャンプーのポンプなどがあります。




★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

正答

1  
 (1) 1

(2) 2


受粉じゅふんが必要かどうかを調べるためには、受粉以外じゅふんの条件じょうけんを同じにして実験をすることが大切です。



(3) 3


2  
 (1) 4

ひろしさんの予想はまちがっていますが、予想よそが確かめられた場合に得られる実験結果の見通しをもつことが大切です。



(2) 5

あやこさんは、水のはたらきの大きさは、水の量が関係していると考えているため、その考えを確かめるためには、水の量以外じょうけんの条件を同じにして実験をすることが大切です。



(3) 6

石は、流れる水によって運ばれるとき、ぶつかり合っ角がけずられ、小さく丸くなっていきます。



〔理科〕小6 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

(1)

(2)

根から取り入れられた水は、おもに葉から水蒸気となって出ていきます。



(3)

水が水蒸気となって出ていく小さな穴を気孔きこうといいます。



2

(1)

水のはたらきで土が流されると、色やつぶの大きさがちがう、れき、砂、どろなどが層そうになって積み重なり、それが何度かくり返されて、地層ちそうができます。



(2)

(3)

地層ちそうには、流れる水のはたらきでできたものと火山のはたらきでできたものそうとがあり、どちらも、層そうになって広がっています。

